



なみだがしょっぱいのはどうして

なみだに塩分が入っているから

なみだがしょっぱいのは、なみだに塩分が入っているからです。

なみだは、泣いたときだけでなく、いつも目の表面を少しずつ流れていて、ゴミを取ったり、ばい菌が入ると殺したりして、わたしたちの目を守っているのです。

この、目の表面についているばい菌を殺す、薬のようなものは、リゾチームとよばれるものですが、なみだの中には、ほんの少しですが塩分もふくまれています。そのため、なみだはしょっぱいのです。

なみだが出るのは

両目の上の、上まぶたの外側には、涙腺というなみだをつくったり、ためたり出したるものがあり、なみだは、そこから出て流れているのです。

あくびをしたときなど、なみだが出るのは、あくびをするとき大きく口をあけるため、涙腺のまわりの筋肉がきん張し、涙腺がおさえつけられて、しぼり出されるためです。

また、あくびをすると、顔の筋肉がきん張するため、目と鼻の間にある「涙のう」という、なみだを鼻に流すところの口がとじて、なみだ流れなくなってあふれ出てきたり、「涙のう」にたまっていたなみだが、しぼり出されたりするのです。（監修・保志 宏）

